

10周年を迎えた地盤工学会関東支部と 地盤工学の軌跡

公益社団法人 地盤工学会前会長
(関東支部初代副支部長)

末岡 徹

主な内容

1. 10年前の関東支部スタート時は？
2. 関東支部の様々な活動
(各研究委員会, 各県の活動, 提言他)
3. 地盤工学会の公益社団法人化の実現と財政健全化
4. 東日本大震災への地盤工学会の対応
5. おわりに

1. 10年前の関東支部スタート時

(1) 陣容

- 支部長 石原研而(中央大学)
- 副支部長 安原一哉(茨城大学)
- 副支部長 三木博史((独)土木研究所)
- 副支部長 田中洋行((独)港湾空港技術研究所)
- 副支部長 末岡 徹(大成建設株)
- 副支部長 瀬古一郎(関東地質調査業協会)
- 幹事長 岸田隆夫(東亜建設工業株)
- 副幹事長 山崎 晶(株)熊谷組
- ⋮

(所属組織は当時)

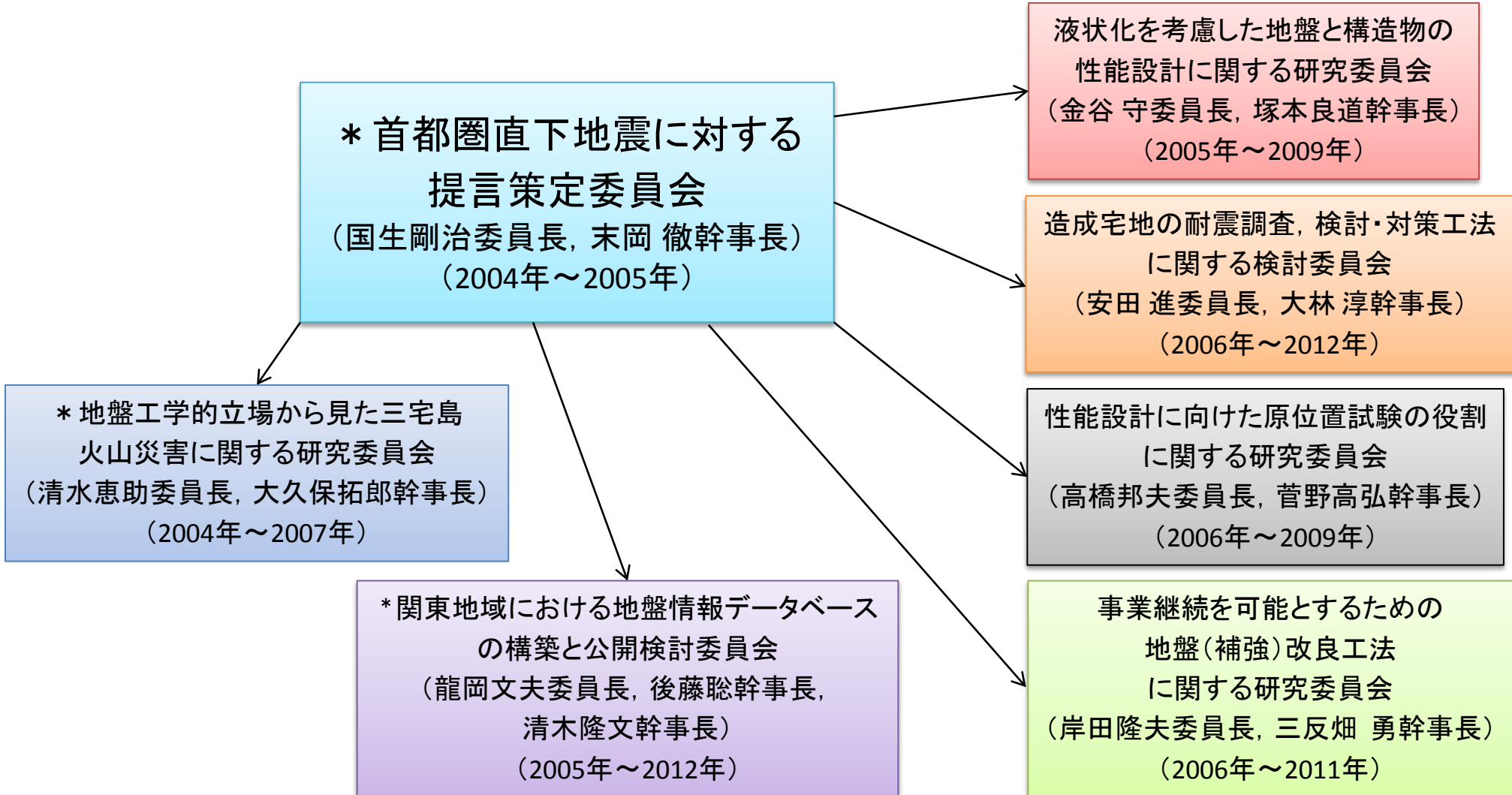
(2) 法人会員の増加策

まず、法人会員を増やし、関東支部の足腰を強化する目的で、2004年～2007年、法人会員を78社(88社)増やす。
(地盤工学会全体の法人会員減少にストップをかけた)

- 山崎 晶副幹事長と、石原研而支部長, 末岡 徹副支部長, 岸田隆夫幹事長他が法人各社を訪問、Face to Faceの関係で加入促進活動を実践。

2. 関東支部の様々な活動

(各研究委員会, 各県の活動, 提言他)



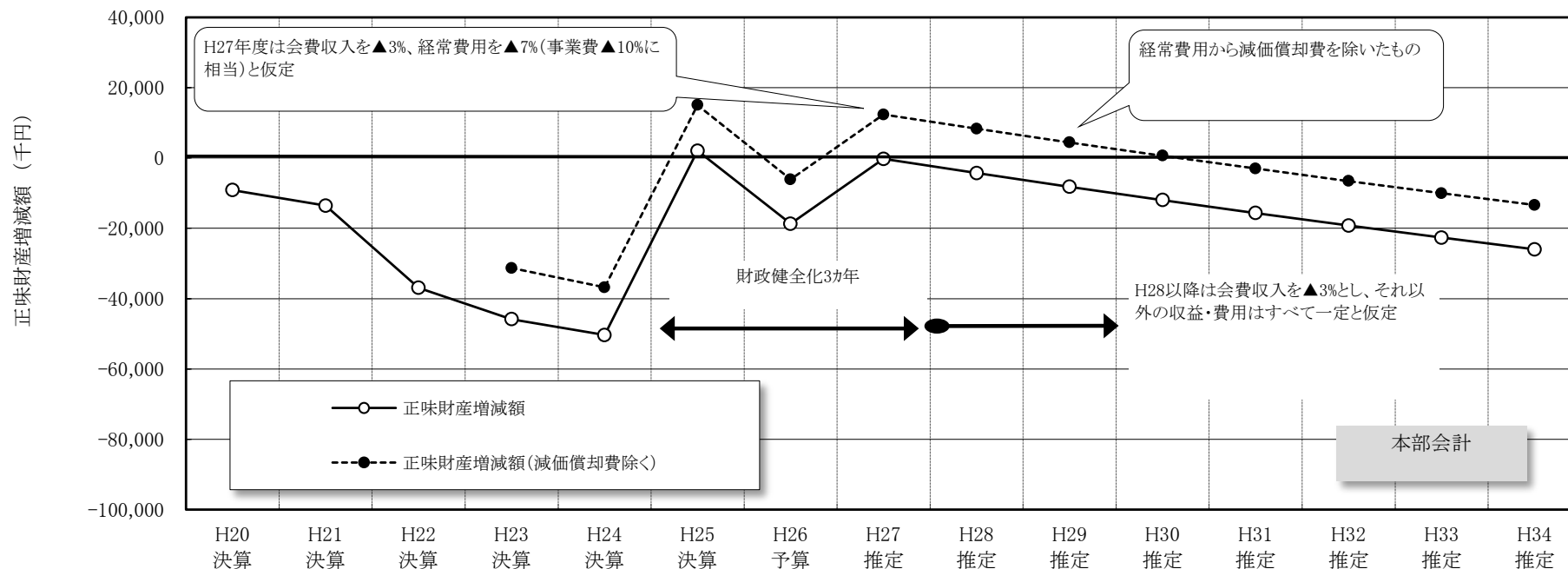
* 関東地域特有の地盤に関する活動

3. 地盤工学会の公益社団法人化の実現と財政健全化

(1) 公益社団法人化(約5年をかけて実現)

- 龍岡文夫会長時代(第29代、2006年～2008年)
 - 「技術」を学会定款に追加し、公益法人化の下地作り
- 浅岡 顕会長時代(第30代、2008年～2010年)
 - 公益社団法人化に膨大な作業を実施
- 日下部 治会長時代(第31代、2010年～2012年)
 - 2010年11月 公益社団法人化を実現
 - 2011年 3月 東日本大震災が発生、様々な公益事業がスタート
- 末岡 徹会長時代(第32代、2012年～2014年)
 - 公益とは何かを念頭に東日本大震災に関する研究委員会活動や原子力災害等についての活動をスタート
 - 財政健全化活動を活発化
 - 2013年2月地盤品質判定士制度がスタート

(2) 地盤工学会の財政健全化



正味財産増減額の推移と今後の試算

(中長期財政健全化検討委員会(岩崎委員長)地盤工学会誌2014年5月号を修正)

4. 東日本大震災への地盤工学会の対応

(1) 主な活動

2011年3月11日東日本大震災が発生

- 2011年東北地方太平洋沖地震災害調査団(村上章団長)の派遣
地盤工学会誌, 地盤工学ジャーナル, 神戸大会で発表・報告
- 第一次(2011年7月)及び第二次提言(2012年6月)発表・配布
- Geo-Hazards During Earthquakes and Mitigation Measures —
Lessons and Recommendations from the 2011 Great East Japan
Earthquake—(2011年9月)
- Soils and Foundations(村上章編集委員長)にSpecial Issue on
Geotechnical Aspects of the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku
Earthquake (Vol.52, No.5)を発行

(2) 主な連携活動

- ① 8学会による東日本大震災合同調査報告の編集および出版
- ② 地盤工学会特別シンポジウム—東日本大震災を乗り越えて—の開催
- ③ 日本建築学会と地盤工学会の合同討論「東日本大震災と向き合う」の実施と討論集の出版
- ④ 自治体・国土交通省・環境省等との地盤の液状化や地盤環境分野の連携活動
- ⑤ 新資格制度「地盤品質判定士」の確立と法曹会との連携
- ⑥ 断層に関する理工学合同委員会の設立
- ⑦ 東京電力福島第一原子力発電所汚染水に関する会長特別委員会の設置
- ⑧ 日本学術会議での活動

5. おわりに

公益社団法人地盤工学会は、この他に様々な活動を行なっている。現在、龍岡文夫関東支部支部長及び東畑郁生会長の下、会員の皆様全員で学会の財政基盤を強化しつつ、地盤工学の発展と会員資質とサービスの向上、社会への貢献を大いに活発化させて欲しい。微力ながら協力致します。特に2015年11月博多で開催予定の第15回国際地盤工学会アジア地区会議(大谷順実行委員長)では、エンジニアリンクセッション日の企画や学会基準の英訳化(竹下委員長, 佐藤理事)等を計画中。